

平成28年度 第2回徳島労働局公共調達監視委員会審議概要

開催日時	平成29年2月27日 13:30～	
会場	徳島地方合同庁舎5階会議室	
委員（敬称略）	委員長 南 育広	大学教授
	委員 新見 和男	税理士
	委員 島内 保彦	弁護士
事務局	徳島労働局総務課	
審議対象期間	平成28年7月1日～平成28年12月31日契約締結分	
意見の具申又は勧告	なし	

- 1 委員の互選により南育弘委員を委員長として選任。
- 2 対象期間中の対象契約件数は2件であり全数審議。
- 3 審議案件に対する委員からの質疑等及び質疑等に対する事務局回答

公共工事（競争入札）審議件数0件	
質疑等なし	
公共工事（随意契約）審議件数0件	
質疑等なし	
物品・役務等（競争入札）審議件数1件	
・年度後半における集中的な就職面接会事業（平成28年11月21日契約分）	
質疑等	回答
①この面接会には、何人が参加したのか。	①参加企業が31社で、求職者が47名参加した。
②新聞で60社参加の面接会を見たが、60社を集めるのは大変なのか。	②まず会場に60社を集めるとなると県内でも会場規模が限られてくるため、本面接会の予算では開催は難しいと考えられる。ただ、当局では年に3回は60社規模の面接会を実施しているところである。
③仕様書の中に参加人数は触れていないのか。	③仕様書の中で参加企業については30社以上としているが、参加者の人数までは決めていない。
④何人来るかについては、いつわかる	④広報や関係機関等に周知を行って

<p>のか。</p> <p>⑤予想外に参加者が来た場合は、どうするのか。</p> <p>⑥落札者の決定のポイントは何なのか。</p> <p>⑦価格のみの一般競争入札はなじむのか。公平性を保つためには一般競争入札は分かるが、価格以外に考慮が必要なのではないか。初参加の会社に昨年度の実績（参加人数等）は答えているのか。</p>	<p>るが、事前の登録は行っていないため、当日となる。</p> <p>⑤ある程度の参加者は仕様書等により算定していただいているところであり、参加者は想定内で対応出来ている。また、当日の面接会の運営については、主体的に委託者が行うこととしており、予想外の参加者があった場合には、面接時間や人員配置等を調整することで対応は可能と考えている。委託契約金額を超えた場合の支払いは委託者持ちとなる。</p> <p>⑥一般競争入札を実施しているので、価格となる。</p> <p>⑦一般競争入札を実施して受託者が決定した場合は、速やかに事業に係る詳細な計画書を提出し、労働局の了承を得る必要があることを説明しており、価格だけではなく、内容についても確認を行っている。また、初めて事業に応募する会社については、HPで前年度の内容を確認してもらい、その実績等についても説明を行っているところである。</p>
--	--

物品・役務等（競争入札）審議件数1件

・平成28年度生涯現役促進地域連携事業（平成28年12月1日契約分）

質疑等	回答
<p>①随意契約として契約を行っているのは何故なのか。</p>	<p>①国の事業に応じて事業構想を提案し、事業構想の選定を受け、地域計画の策定及び協議により厚生労働大臣の同意を得た結果、地域連携事業の実施を当協議会と委託要綱に基づき委託契約を締結することとなっているため</p>

<p>②予算については、きちんとしているのか。また、事前に分かっているのか。</p> <p>③事業対象経費は誰が積算するのか。</p>	<p>ある。</p> <p>②平成28年度の事業実施にかかる予算（年度計）の上限は、地域計画の策定主体により決まっている。また、事業構想の提案時に管理費及び事業費で構成した必要経費の概算を地域連携事業の実施に係る委託対象経費として計上しており、応募する段階では分かっている。</p> <p>③協議会である。</p>
---	---